

多野藤岡医療事務市町村組合  
公立藤岡総合病院だより

# SASAEAI

2024  
No.45

さ さ え あ い

## 研修管理センターの活動



## 看護部の活動

ご自由にお持ちください

多野藤岡医療事務市町村組合  
公立藤岡総合病院だより

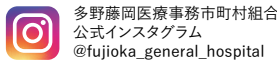
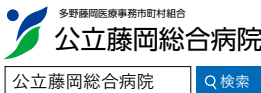
SASAEAI ささえあい 2024 No.45

〒375-8503 群馬県藤岡市中栗須813番地 1 公立藤岡総合病院 経営管理部 企画財政課  
TEL 0274-22-3311(代表) / FAX 0274-24-3161



### 編集後記

昨今、気候変動等の影響により  
自然災害が激甚化しています。  
「地域災害拠点病院」の指定を  
受けている当院では、常に数日分  
の水や食糧を備蓄しているほか、  
平成29年に完成した入院棟に免  
震構造を導入しています。  
患者さんや医療スタッフの安  
全を確保しつつ、大規模な自然  
災害に際しても必要な医療の提  
供を継続することができる体制  
を整えています。



公式Youtube



【表紙】8月に行われた「夏休み親子病院見学会」の様子

## 4月 新入職オリエンテーション



医師だけでなく、看護師、薬剤師、研修2年間の集大成として、リハビリ職員、事務等多くの職種が合同で参加することにより、チーム医療の促進に繋がります。

## 8月 外科手技研修



研修医を対象として、上級医指導のもと毎年4回にわたって糸結びや皮膚・腸管のモデルを使った縫合などを学んでいます。

## 10月 救急車同乗実習



1年目の研修医は毎年、藤岡消防署で現場での救急医療活動の現状把握や病院での救急医療活動の連携を深めることを目的として実習を行っています。

## 研修管理センターの1年

研修管理センターでは、大きく分けて医局秘書業務、研修管理業務及び資格等の認定・継続準備業務を行っている。

医局環境・アメニティ整備、医師の所在確認（外来、手術、検査等）、医師の専門医認定・継続等の準備及び申請、出張の手配・経理や病院の各種認定審査の準備等、毎日余念がない。これらに加えて、季節ごと月ごとに次のような行事を準備・運営している。

## 6月 レジナビフェア in 東京ビックサイト



東京ビックサイトで医学生向け説明会を行いました。研修医2年目に当院を紹介してもらいました。

## 10月 学外実習



群馬大学医学部の学生実習を受け入れています。この中から当院の未来の研修医が生まれる事は少なくありません。



今から凡そ20年の昔（平成16（2004）年頃）、現在の臨床研修医研修制度が開始された頃に、この研修管理センターの起源は遡る。当時は、医局に事務職員（医局秘書と呼称）を配置し、病院長と共に臨床研修

医の獲得や、研修の手法などを各科の協力の下、手探りで行っていた状態であった。その後、直ぐに、臨床研修指導医・臨床研修プログラム責任者の養成、資格の創設、厚生労働省の干渉の増大等を背景に、業務の煩雑さや専門性が増大し、病院長直属の部長級医師、事務職員の増員により、現センターの原型が築かれた。その後、臨床研修病院評価、病院機能評価、看護部を含む全職種の研修・教育・資格管理をも含めるという構想の下、看護師長と事務職員の増員を経て、“研修管理センター”へと発展することとなる。

ところが、診療部各科の専門研修、資格創設が相次ぎ、また各医療職種（特に最大の看護部）の教育・研修、資格が膨大化し、且つ上記、臨床研修機能評価・病院機能評価の受審が煩雑、嚴重であったため、医局内の片隅に陣取る小部署のキャバを遙かに凌駕し、創設理念である「全病院的」一元管理は達成されていないのが、現状である。

そのような中でも、医学部生の評価は上昇し、臨床研修医のマッチングでは、この10年ほど希望者が殺到、定員フルマッチを継続している。当初、研修医が1名の年度もあったことが嘘のようで、偏に“医局秘書”たちの、親身できめ細やかな、時にお節介なお世話のおかげである事は言を俟たない。また、看護師を始め、コメディカル、職員の皆さんの暖かい協力、見守りによる事も、医学部学生・研修医が口を揃える。この場で最大の謝意を表すると共に、今後もよりお願いしたい。

今後は、現状の良い流れを維持すると共に、初期の理想実現に向けて改善していかなければならない。そのために、看護部、診療支援部の上位職種、権限を持ったスタッフを迎え、事務職員の増員（研修・教育部門、資格取得・維持部門の専門分化が必要なため）を果たし、創設理念である「全病院的」一元管理出来る、真の“研修管理センター”に発展、昇格することが必要であろう。

この後に、一年間の流れに沿って、研修管理センター管轄の主なイベントを紹介したい。

二代目 研修管理センター長 遠藤 究

公立藤岡総合病院だより

# SASAEAI

さ さ え あ い

## 病院の理念

地域住民から信頼される医療

## 基本方針

- 1 患者さんの権利と意思を尊重し、患者本位の医療を提供します。
- 2 地域中核病院として、救急医療、高度専門医療の充実に努めます。
- 3 地域の医療・介護・保健機関と密接な連携を行います。
- 4 次世代の医療従事者の教育・研修に貢献します。

## 委員会について

### 研修委員会

年3回研修委員会を開催しています。  
院内外の研修・各部署の研修計画と実績を報告しています。また、院内学会などについても研修委員会で検討しています。

### 図書委員会

年2回開催しています。各部門に翌年度購入希望雑誌・書籍の調査を行い、委員会でその調査結果を報告し、承認を受け、購入へとつなげています。

### 研修管理委員会

年3回研修管理委員会を開催しています。  
研修の進捗状況の報告や研修修了の承認を委員会でを行っています。

## 研修管理センター職員の紹介



緑の下の力持ちとして頑張ります！

研修管理センターに所属して3年目になります。  
今後も充実した研修が出来るようサポートしていきたいと思います。



研修管理センターの仕事と図書司書を兼務しています。いつも周りの人に助けてもらっています。

7月から研修管理センター勤務となりました。  
初めてのことばかりですが毎日楽しく学んでいます。



### ▶これから



今後臨床研修担当をさせていただく循環器内科の間渕です。  
研修医の先生方が、2年間充実した研修が出来るよう、指導医・診療科と協力してサポートさせていただきます。よろしくお願いいたします。

### 1月 JMECC研修



内科救急を学ぶため、群大附属病院・高崎総合医療センターから講師を招きました。研修医や上級医の先生が参加し、シュミレータを使用するなど貴重な研修となりました。

### 12月 院内学会



毎年、各部門の中から選ばれた部署が、その年のテーマに沿って発表を行う場です。職員がお互いの部門を知る良い機会となっています。

### 1月 症例発表会



1年目の研修医が上級医の先生方に指導を受けながら、日ごろの研修生活で経験した症例を学会さながらに発表します。

### 1月 JCEP



2023年度卒後臨床研修評価を受審し4年間の更新認定を受けました。研修医の医療の質を維持しています。

### 3月 研修医修了式



2年間の研修生活を終え、研修医たちは別の病院へ巣立っていきます。別れは寂しいですが、また一緒に働ける事を願って送り出します。

### 1月 基本的臨床能力評価試験



毎年1月に、2年目の研修医が研修2年間の集大成として日本医療教育プログラム推進機構主催の試験を受けています。

# 看護部の活動



公立藤岡総合病院看護部は、看護職員総数406名（会計年度任用職員含む）で、病院内で最大の組織です。そのうち管理職は、看護師長18名、副看護師長27名で、日頃から安全・安心な看護の提供及び看護の質向上を目指し、従事しています。

看護部は、「患者さんの満足と看護者のやりがいの実現にむけて、人間愛に基づいた専門性の高い看護サービスの提供を目指します」を理念に掲げています。その理念の実現に向け、看護師長会では看護部長及び副看護部長も参加し、4つのグループ活動を進めています。今回は、「接遇、身だしなみグループ」「広報グループ」「看護提供体制検討グループ」「ハラスメント対策グループ」の活動を紹介いたします。

## 看護提供体制検討グループ

看護提供体制検討グループは、看護部の理念を目標に、看護提供方式の全病棟統一に向けて検討を行っています。様々な看護提供方式の中で、私達の目指す看護に適した看護提供方式となるよう話し合っています。「看護師はベッドサイドに」をモットーに、看護業務の効率化を図り、ベッドサイドでの時間を確保し、患者さんに寄り添う看護を実現し、さらに看護師のやりがいにも繋げていきたいと思っています。

看護提供方式を統一し、看護の質の向上を図り、安全で安心な看護を提供することを目指し、取り組んでいます。



## ハラスメント対策グループ

ハラスメント対策グループは、看護部長をはじめとする計6人のメンバーで構成され、「ハラスメントのない働きやすい職場環境を作る」ことを目的として活動しています。

昨年度は、『安心な職場環境サポートブック』や『安心かわら版』の作成・配布、『ハラスメント防止啓発ポスター』の作成・掲示を行いました。今年度は、「働きやすい職場＝心理的安全性が高い職場」となるような活動をしています。

今年度も一人一人が安心して働くことができる、ハラスメントのない「安心して発言・行動ができる」職場を目指します。



## 接遇・身だしなみグループ

当院に来院される患者さんやご家族は、不安や心配を抱えていらっしゃいます。看護師は、患者さんやご家族の心に寄り添った看護を実践するため、信頼関係を構築していく必要があります。そのためには、患者さんと良好なコミュニケーションを図るための「接遇スキル」が欠かせません。

そこで、接遇・身だしなみグループは、接遇の改善に向け「ともだち言葉ゼロ」をスローガンに掲げ、ポ

スター掲示、接遇ラウンドを実施し、スタッフ指導を行っています。看護職員全員が「接遇スキル」をあげ、看護部が目指す「患者の思いを汲みとり、受けとめ、寄り添う看護を提供する」を実践し、患者さんにご満足いただける看護を目指して活動しています。



## 看護部広報グループ

広報グループは、看護職員の人材確保と地域住民の方への広報を目的とし、看護師を目指している人や地域の方に病院を知っていただけるように、研修内容やイベント情報を発信していく活動を行っています。

活動内容として、SNS 発信、ホームページの内容更新、高校生を対象とした「ふれあい看護体験」の企画を行い、参加した学生からは高い評価をいただくことができました。

今後はさらに、SNS・ホームページに当院が実施している様々な活動の紹介や、実際に働くスタッフのインタビュー紹介などを発信していきます。

今後ますます地域住民の方から信頼される病院を目指し、広報活動の内容充実に取り組んでいきます。



# 親子体験施設見学会

令和6年8月9日に「夏休み親子病院見学会」を開催しました。

病院の仕事や医療機器について、見学会を通じ参加する楽しさと学びの機会を伝えることができました。普段は見ることのできない地下の免振装置などの施設見学や、人形を使った救命訓練も行いました。



医療器具の説明



人形を使った救命訓練



地下免震装置見学



聴診器を使った心音の聴診体験

## 登録医のご紹介

### 島田クリニック

藤岡市

中大塚に島田クリニックを開業してはや24年が経ちました。先代の医院からはじまり、開院から携わった島田記念病院勤務時代を含めると約80年、2代にわたり多くの皆様の協力のもと故郷藤岡の地で医療に携わらせていただいております。ありがたいことに令和4年には藤岡市の功労賞を拝受いたしました。日進月歩の医療の世界において患者様に対して最新の医療を提供できるよう、常に緊張感を持って日々勉強を続けております。

当院では一般内科、腎臓内科、透析医療を中心に診療しており、特に透析医療に関しましては、透析施設を併設し、血液透析や濾過透析、慢性腎臓病の管理を行っております。通常の外来診療においても生活習慣病をはじめとしたその他の疾病の診療に加え、健診及びワクチン接種、一部の高齢者施設と連携し訪問診療も行っております。

今後も藤岡総合病院をはじめとした多野藤岡地域の連携医療機関の一員として皆様の健康維持に貢献し、病でお悩みの方の力となれますようスタッフと共に努めていく所存です。



院長 島田 明仁 Akihito Shimada

医学博士、腎臓専門医、透析専門医  
日本内科学会認定医、臨床内科専門医  
内科・循環器内科・人工透析内科

〒375-0053 藤岡市中大塚172-7  
TEL 0274-23-0005 FAX 0274-23-0007  
診療時間: 9:00~12:15 15:00~18:00  
※木曜・土曜は午前のみ  
休診日は日曜、祝祭日

## 医療法人桂水会 岡病院



本庄市



院長 岡 祐輔 Yusuke Oka

日本泌尿器科学会泌尿器科専門医  
内科・循環器内科・消化器内科・人工透析内科  
泌尿器科・腎臓内科・消化器外科・肛門外科

〒367-0031 本庄市北堀810  
TEL 0495-24-8821 FAX 0495-24-7640  
<http://oka-hospital.jp/>  
診療時間: 9:00~12:00 14:00~16:00  
休診日は木曜、日曜、祝祭日

(院長あいさつ)

当院は内科、泌尿器科、人工透析内科を中心とした109床の病院であり、地域医療に貢献することを理念に掲げ、二次輪番病院として本庄市児玉郡の救急医療の一翼を担っております。

職員一同さらに患者様や地域に愛される病院となるよう懸命に勤めてまいりますので、これからもよろしくお願い申し上げます。

(当院の特徴)

当院では、入院施設として、急性期病床、地域包括病床、療養病床を開設しており、患者様の状態に合わせた幅広い対応が可能となっております。

また、120床を有する透析棟を備え、外来通院による血液透析が可能となっており、地域医療の強みとなっております。

更に、より一層地域の皆様のお役に立てるよう、訪問介護・デイサービス施設を設けております。

